

平成 2 8 年

全 員 協 議 会 記 録

平成 2 8 年 1 月 2 8 日

和 光 市 議 会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 平成28年1月28日(木曜日)
午前 9時30分 開会 午前10時06分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 17名

議 長	齊 藤 克 己 議員	副議長	齊 藤 秀 雄 議員
1 番	菅 原 満 議員	2 番	西 川 政 晴 議員
3 番	熊 谷 二 郎 議員	4 番	鳥 飼 雅 司 議員
5 番	内 山 恵 子 議員	6 番	吉 田 武 司 議員
7 番	村 田 富 士 子 議員	8 番	富 澤 啓 二 議員
9 番	猪 原 陽 輔 議員	10 番	待 鳥 美 光 議員
11 番	吉 田 け さ み 議員	12 番	赤 松 祐 造 議員
14 番	吉 村 豪 介 議員	15 番	小 嶋 智 子 議員
16 番	金 井 伸 夫 議員		

◇欠席議員 13番 安 保 友 博 議員

◇出席説明員

市 長	松 本 武 洋	副 市 長	大 野 健 司
教 育 長	大久保 昭 男	企 画 部 長	山 崎 悟
総 務 部 長	橋 本 久	企 画 部 次 長 兼 財 政 課 長	奥 山 寛 幸
秘書広報課長	松 戸 克 彦	政 策 課 長	川 辺 聡
財政課長補佐	細 野 文 裕		

◇事務局職員

議会事務局長	郡 司 孝 行	議会事務局次長	伊 藤 英 雄
議事課長補佐	高 橋 澄 枝	主 事	小 林 厳

◇本日の会議に付した案件

平成28年度当初予算(案)骨子説明
その他

午前 9時30分 開会

○齊藤克己議長 おはようございます。

ただいまから全員協議会を開催します。

なお、本日、安保友博議員から欠席届が提出されておりますので報告いたします。

初めに、市長より挨拶をお願いいたします。

松本市長。

○松本市長 おはようございます。

議員各位におかれましては、市政推進に対しまして、平素から格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本日は、平成28年度当初予算案につきまして、その概要を議員の皆様にお示しさせていただきます。

さて、我が国の経済は、景気の緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で中国を初めとするアジア新興国など海外の状況が不安定なこともあり、景気を下押しするリスクに留意しなければならない状況にあります。

また、先日来、株式市場に不安要素があり、本市もその動向を注視している状況でございます。

このような中、来年度の本市の財政状況については、下新倉小学校の開校、それに伴う図書館分館、保育クラブに係る経費のほか、引き続き駅北口など各土地区画整理事業の推進、アーバンアクア公園整備の大規模事業、公共施設の老朽化に対応する経費、さらには各種の社会保障関係経費の増加により、依然として大変厳しい財政状況が続くものと考えております。

平成28年度当初予算編成に当たっては、国の動向を見極めつつ、和光市健全な財政運営に関する条例及び平成28年度和光市行政経営方針の趣旨を踏まえた予算編成に取り組んでまいりました。

平成28年度におきましては、市税収入は前年に引き続き伸びを見込んでおり、個人消費も雇用・所得環境が改善する中、持ち直しに向かうことが期待されておりますが、必ずしも楽観視できる状況にまでは至っていないと言えます。

このようなことから、質の高い行政サービスを将来にわたって持続的に提供していくため、選択と集中の考え方のもと、身の丈にあった行政経営に取り組み、健全財政の堅持に努めてまいりますので、議員各位の御支援、御協力をお願いする次第でございます。

それでは、予算案の概要につきまして、企画部長から説明させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

○齊藤克己議長 ありがとうございます。

休憩します。（午前 9時32分 休憩）

再開します。（午前 9時33分 再開）

〔市長退席〕

本日の案件は、平成 28 年度当初予算（案）骨子の説明についてです。

平成 28 年度当初予算（案）の骨子について、説明願います。

初めに、山崎企画部長。

○山崎企画部長 それでは、平成 28 年度当初予算案の概要について説明いたしますのでよろしくお願いたします。

なお、事業及び予算額については、現時点でのものであり、今後、最終的な調製を行うため、変更等もありますので、御了承いただきたいと思ます。

初めに、一般会計及び特別会計における歳入歳出予算の総額について説明させていただきます。

それでは、資料 1 の 1 ページ、平成 28 年度一般会計特別会計予算案一覧表をごらんください。

初めに、一般会計につきましては、児童福祉費や都市計画費の大幅な増加はあるものの、小学校建設工事の終了により、平成 27 年度と比べて 8.5%、22 億 8,400 万円の減少となり、予算総額は 245 億 2,500 万円となっております。

次に、特別会計につきましては、4 つの特別会計全体で、平成 27 年度と比べて 0.6%、7,778 万 8,000 円の増加となり、予算総額は 125 億 7,880 万 2,000 円となっております。各特別会計の概要を申し上げますと、国民健康保険特別会計につきましては、加入者数の減少に伴う保険給付費などの減少により、平成 27 年度と比べて 3.4%、2 億 7,400 万 8,000 円の減少となり、予算総額は 78 億 4,207 万 5,000 円となっております。

次に、後期高齢者医療特別会計につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増加により、平成 27 年度と比べて 4.6%、2,860 万 4,000 円の増加となり、予算総額は 6 億 5,350 万 3,000 円となっております。

次に、介護保険特別会計につきましては、利用者の増加により、平成 27 年度と比べて 6.2%、1 億 9,025 万 8,000 円の増加となり、予算総額は 32 億 7,852 万 9,000 円となっております。

次に、和光市駅北口土地区画整理事業特別会計につきましては、事業費の増加により、平成 27 年度と比べて 19.8%、1 億 3,293 万 4,000 円の増加となり、予算総額は 8 億 469 万 5,000 円となっております。

以上が、一般会計及び特別会計の歳入歳出予算の総額であります。

平成 28 年度は、下新倉小学校開校に伴う管理運営経費の増加に加え、伸展する土地区画整理事業や増加傾向にある社会保障関係経費への予算配分などにより、本市の財政状況は依然として厳しい局面にあります。

このような大変厳しい状況の中、平成 28 年度当初予算案につきましては、従来からの市民

サービスを低下させることなく、将来を見据えた投資的事業をも推進するため、歳入の確保として特定財源の活用はもとより、将来負担を考慮した市債借入れや事業の目的に合わせて基金の取り崩しも行いながら、予算編成に取り組んできたところであります。

それでは、一般会計を中心に当初予算案の概略を財政課長より説明いたしますので、よろしくをお願いします。

○齊藤克己議長 続いて、奥山財政課長。

○奥山財政課長 それでは、平成 28 年度当初予算案について、一般会計を中心に説明いたします。

資料 1 の 2 ページをごらんください。

初めに歳入の主な内容について説明いたします。

款 1 の市税については 140 億 5,317 万 5,000 円と、前年度から 2 億 7,999 万 9,000 円、2.0%の増加見込みとなっています。

市民税については、前年度から 6,114 万 2,000 円、0.9%の増加を見込んでいます。内訳を申し上げますと、個人市民税が納税義務者数及び 1 人当たり所得割額の増加が見込まれることから 1 億 1,957 万 4,000 円増加、法人市民税については、法人税割の税率が 12.3%から 9.7%に引き下げられることにより 5,843 万 2,000 円の減少を見込んでいます。

固定資産税については、新增築家屋の増加により、前年度から 1 億 8,940 万 5,000 円、3.3%の増加を見込んでおります。軽自動車税については、税率改正による税収増が見込まれるため、1,287 万 4,000 円、28.7%の増加としています。市たばこ税については、売り渡し本数の減少が見込まれることから、1,400 万円、2.8%の減少としています。

都市計画税については、固定資産税と同様の要因により、3,057 万 8,000 円、3.7%の増加としております。

次に、款 2 地方譲与税から款 12 交通安全対策特別交付金までの依存財源につきましては、平成 28 年度地方財政対策及び埼玉県から送付された平成 28 年度市町村交付金交付見込額に基づいて積算しております。

企業業績の回復等を反映した配当割交付金及び株式等譲渡所得割交付金の増に伴い、地方譲与税等の総額は、前年度から 7,491 万 3,000 円、4.7%増加する見込みとなっています。

なお、款 11 地方交付税については、前年度と同様、普通交付税を不交付と見込み、特別交付税のみを計上しております。

3 ページをごらんください。

款 13 分担金及び負担金については、保育園入所児童保護者負担金等の増加が見込まれることから、9,789 万円、16.3%の増加としております。

次に、款 15 国庫支出金では、子ども子育て支援新制度に係る保育所運営費負担金及び保育所等整備交付金並びに臨時福祉給付金給付事業費補助金等の増加により、6,834 万 1,000 円、1.8%の増加。

款 16 県支出金についても、保育所運営費負担金の増加などにより、2,807 万 5,000 円、1.9%の増加と見込んでいます。

次に、款 19 繰入金につきましては、4 億 6,546 万 2,000 円と、新設小学校建設事業の終了に伴い、前年度から 9 億 6,190 万 7,000 円、67.4%の減少となっています。

主な内訳につきましては、焼却・粗大施設修繕整備等の財源として公共施設整備基金、和光北インター地域土地地区画整理組合活動支援等の財源として都市基盤整備基金、第二中学校給食室改築工事等の財源として学校教育施設整備基金を繰り入れるなど、市債管理基金を除いた全ての基金からの繰り入れを予定しています。

なお、財政調整基金からは 2,135 万 9,000 円を繰り入れる見込みとなっています。

詳細については、資料 4 をごらんいただければと思います。

次に、款 22 市債につきましては、11 億 8,470 万円と、前年度から 16 億 9,840 万円、58.9%減少しております。

内訳については、アーバンアクア公園整備や土地地区画整理事業などの財源となる土木債が大半となっておりますが、この他、第二中学校給食室改築工事に係る教育債を計上しております。

なお、臨時財政対策債については、普通交付税を不交付と見込んでいるため計上はしておりません。

平成 28 年度の地方債の借り入れに伴う地方債残高の見込み額については、資料 3 をごらんいただければと存じます。

以上が、歳入の主な内容となります。

次に、歳出の主な内容につきましては、目的別の款ごとに、前年度予算から増減額の大きいものを中心に説明させていただきます。

4 ページをごらんください。

まず、款 2 総務費については、統一地方選挙及び国勢調査の終了により、前年度から 8,294 万 1,000 円減少しています。

次に、款 3 民生費については、在宅障害者支援事業に係る介護給付費・訓練等給付費、保育園等の施設入所委託料及び地域密着型サービス等整備助成事業等補助金などの増加により、前年度から 10 億 5,246 万 3,000 円増加しています。

次に、款 8 土木費につきましては、土地地区画整理事業の進捗に合わせ、白子三丁目中央、和光北インター地域土地地区画整理組合等に対する和光市組合等まちづくり整備事業補助金の増加に加え、駅北口土地地区画整理事業特別会計繰出金も増加する見込みであるため、前年度から 1 億 6,167 万円増加となっております。

次に、款 10 教育費につきましては、下新倉小学校建設事業の終了により、前年度から 33 億 9,339 万 3,000 円大幅に減少しております。

以上が、歳出の主な内容となります。

続きまして、資料 2、平成 28 年度施策及び方針に基づく事業費予算案の概要について、重

点事業及び前年度からの増減額が大きい事業を中心に説明いたします。

1 ページをごらんください。

事業名称が変更となったものについて、前年度予算額をゼロ円としております。また、水道事業会計及び下水道事業会計については、予算調製中のため、前年度と同額の額を計上しております。このため、昨年等の資料、合計額が一般会計予算額の総額と合わない部分があることを御了承いただければと思います。

初めに、「基本目標Ⅰ 快適で暮らしやすいまち（都市基盤）」では、1 ページ上段の中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備と、2 ページ下段の雨水対策の推進の2つを重点施策としております。

主な内容を申し上げますと、中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備の駅北口土地区画整理推進（特別会計）において、道路築造工事及び建物移転等の費用の増加が見込まれることから、前年度から1億3,067万7,000円の増加となっており、施策2の交通の利便性を生かした産業拠点の整備では、和光北インター地域土地区画整理組合活動支援に係る費用が前年度から2億8,374万2,000円の増加となっております。

施策4の良好な居住環境の形成では、土地区画整理事業の進捗に合わせ、和光市組合等まちづくり整備事業補助金をそれぞれ増額させております。

施策6の安全で快適な道路の整備では、道路整備が前年度から3億9,360万円の減少となっておりますが、254バイパス延伸につながる市道378号線（水道道路）拡幅のための用地の先行取得に係る費用が平成27年度の当初予算に計上されていたためでございます。

2ページの施策13雨水対策の推進では、下水道事業会計が予算の調製中のため、前年同額を計上しておりますが、雨水整備において、雨水幹線未整備箇所の排水機能を強化するため、雨水管整備に係る工事請負費などを計上しています。

続きまして、3ページの「基本目標Ⅱ 自ら学び心豊かに創造性を育むまち（教育・文化・交流）」では、施策14確かな学力の育成をめざした教育の推進、施策23充実した生涯学習機会の提供の2施策を重点施策としております。

施策14の確かな学力の育成をめざした教育の推進では、コンピューター教育推進（小学校）において、下新倉小学校のコンピューター借り上げにかかる費用を新たに計上したため、前年度から増額となっております。

施策18の安全でおいしい学校給食の充実では、給食施設整備において、第二中学校の給食室改築及び本町小学校の給食室に空調機を設置するための費用などを計上し、前年度から3億9,918万2,000円の増額となっております。

4ページに移りまして、施策23の充実した生涯学習機会の提供では、夏休み里山体験教室を拡充するための費用等を増額しております。

6ページをごらんください。

「基本目標Ⅲ 健やかに暮らしみんなが支え合うまち（保健・福祉・医療）」では、施策

32 多様な保育サービスの推進、施策 39 チャレンジドが安心できる障害福祉の推進の 2 施策を重点施策としております。

初めに施策 32 の多様な保育サービスの推進では、民間保育園運営から事業名称が変更になった教育・保育施設及び地域型保育事業等運営において、（仮称）白子 3 丁目保育園運営委託料及び小規模事業所負担金の増加等の要因により、前年度から 4 億 4,449 万 4,000 円増加しております。

民間保育所等基盤整備では、ひろさわ保育園に係る新設保育園整備補助金の計上に伴い、前年度から 2 億 14 万 8,000 円増加しております。

施策 34 の地域における健やかな子育ての実現では、事業の統合により新たな事業名となったネウボラについては、前年度予算額がゼロ円となっておりますが、前年度同様の事業を実施してまいります。

続きまして、7 ページの施策 38 介護サービスの適正な提供では、地域密着型サービス拠点等整備において、県の補助金を活用し、第 6 期介護保険事業計画にある地域密着型サービス拠点の整備に係る費用を計上しております。

施策 39 チャレンジドが安心できる障害福祉の推進では、在宅障害者支援において、介護給付費・訓練給付費などの増加が見込まれるため、前年度から 9,141 万 3,000 円の増加としています。

9 ページに移りまして、「基本目標Ⅳ 安らぎと賑わいのある美しいまち（生活・環境・産業）」では、施策 60 廃棄物の適正処理の推進の 1 施策を重点施策としております。

10 ページの施策 60 廃棄物の適正処理の推進では、清掃センターの老朽化に対処するため、焼却・粗大施設修繕整備に係る費用を前年度から 4,178 万 1,000 円増額しております。

12 ページに移りまして、「基本目標Ⅴ 構想の推進に当たって」では、施策 73 市有施設の適切な保全の 1 施策を重点施策としております。

施策 73 の市有施設の適切な保全では、庁舎施設整備において、防衛施設周辺対策事業補助金を活用し、庁舎防災拠点整備工事設計業務委託料を新たに計上しております。

以上、一般会計歳入歳出予算の概要を中心に御説明申し上げましたが、先ほど部長からも申し上げましたとおり、今後、最終的な調製により変更となる部分もございますので、御了承いただきたいと思います。

私からの説明は以上です。

○齊藤克己議長 今回は予算案の骨子の説明ですので、それを踏まえて質疑を行います。

菅原議員。

○菅原満議員 冒頭、部長、課長から説明があったように、組み替えとか実施計画対象外のもの、このほかにあるということですが、資料 2 の快適で暮らしやすいまち（都市基盤）から始まって、構想の推進に当たってまでのそれぞれの合計欄で、例えば資料 2 の 2 ページの快適で暮らしやすいまち（都市基盤）の平成 27 年度予算額の合計を見ると 35 億 279 万 7,000 円で、い

ただいていた平成27年度の当初の予算を見ると、41億2,900万円という数字です。ここに載っている各事業費を足し合わせると35億円にはならないと思うのですが、その辺の数字の違いについて改めて説明をお願いします。

○齊藤克己議長 奥山財政課長。

○奥山財政課長 平成27年度予算で事業立てしてあったものが、平成28年度では事業が載っていない場合、その事業は平成27年度の予算額から除かれていますので、昨年度の資料と数字が異なっています。

○齊藤克己議長 菅原議員。

○菅原満議員 例えば、今の御説明ですと、駅北口広場というのが今回なくなっていて、これはほかの駅北口土地区画整理推進などに組み込まれているかもしれないのですが、この資料での平成27年度の合計と、先ほど説明いただいた平成27年度当初の数字と実際に足し合わせたものはそれぞれ数字が違います。今後このようなものを公表されていくと思いますが、きちんと注書きなりがないと、足して35億279万7,000円にならずに34億円になる。説明では落としたものもあるということですが、実際、平成27年度当初では41億2,000万円と。落としたところで行くと、教育では59億2,100万円となっていて、小学校建設が落ちていて、実際ここに出ているものを足し合わせると19億7,100万円くらいになるのかなという気がするのです。平成27年度と平成28年度の比較で行くと、数字だけ見ると違うのではないかという印象を受けます。その辺を詳しく説明を入れていただかないと誤解を受けてしまう可能性があるのではないかと思います。その点はいかがでしょうか。

○齊藤克己議長 山崎企画部長。

○山崎企画部長 確かに議員が言われたように、内部事務を行っている者はわかっているかもしれませんが、公開する資料としては、しっかりと言葉を付け加えるなり、最初に注釈を入れたり、きちんと数字の合計が合うような形で精査をさせていただいて、わかりやすい資料として公開することがいいと思います。今後の検討課題とさせていただきます。

○齊藤克己議長 菅原議員。

○菅原満議員 冒頭の説明で、平成28年度は今後精査されて動いていくということですが、平成27年度はもう確定しているわけですし、平成27年度と平成28年度の比較の中で、どのように動いているのかなど。先ほどあった保育の関係は実計のところでも事業の組み替え等が採択された時に載っていましたので、その点では今日の説明で理解したわけですがけれども、数字ですので誤解を生じないような形でお願いしたいと思います。改めてよろしくをお願いします。

○齊藤克己議長 菅原議員。

○菅原満議員 もう一点だけ。実計採択外で行くと行政経営方針とか実計の時に説明いただいたように、全体の合計から推測すると、人件費起債の償還ですとか、その他のものでだいたい80億円ちょっとかかると考えてよろしいでしょうか。

○齊藤克己議長 奥山財政課長。

○奥山財政課長 おっしゃるとおり、おおむね80億円程度と考えていただいて結構です。

○齊藤克己議長 菅原議員。

○菅原満議員 わかりました。ありがとうございます。

○齊藤克己議長 ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」という声あり〕

ないようですので、以上にて、質疑を終結します。

休憩します。（午前10時02分 休憩）

再開します。（午前10時03分 再開）

次に進みます。

その他として、小・中学校行事の確認です。昨年と同様、小・中学校の卒業式と入学式は、各自参列する小・中学校を2月5日金曜日、施政方針の配付予定日までに事務局へ御連絡のほどお願いします。

各学校への連絡は、事務局が教育委員会を通じて行います。各学校からの議員宛て通知はありませんので御承知おきください。後日、事務局が配付する開式時刻と集合場所の一覧表で御確認ください。

各議員におかれましては、必ず御出席されますようお願いいたします。

なお、欠席する場合は、各自で直接学校に御連絡のほどよろしくようお願いいたします。

卒業式の日程は、中学校は3月15日火曜日。小学校は3月23日水曜日となります。

入学式の日程は、中学校が4月8日金曜日、午後になります。小学校が同日午前中になります。

各議員で出席学校を決定したうえで、記入をお願いします。

鳥飼雅司議員。

○鳥飼雅司議員 下新倉小学校は同じ時期に入学式になるのですか。

○齊藤克己議長 その点については確認をさせていただきます。内覧会とかも予定されていると思います。

その他、各議員からございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、本日の協議はこれにて終了します。

記録につきましては、正副議長に、一任願います。

全員協議会を閉会します。

午前10時06分 閉会

議 長 齊 藤 克 己

副 議 長 齊 藤 秀 雄